

第3学年5組 道徳指導案

- 1 主題名 人間愛〔内容項目B－(6)：思いやり、感謝〕 (2時間完了)
〈資料名 「希望のビザ－杉原千畝－」 出典：キラリ☆道徳(正進社)〉

2 ねらい

日本領事官としての立場、自らの職の剥奪、あるいは、罪人として扱われるかもしれないといった大きなリスクが伴うことも顧みず、目の前のユダヤ人の命を救うために必死に行動した杉原氏。彼の生き方について考えることを通して、温かい人間愛の精神を深め、互いに尊重し合う関係をつくりたいという道徳的心情を高める。

3 ねらいとする道徳的価値

世界の国には、日本と同じようにその土地に暮らす人々がいて、それぞれの生活がある。しかし、人種差別や貧困に苦しむ人々がいることがわかっているにもかかわらず、今の自分が幸せならそれでいいという考え方をもち、まわりに目を向けられない。特に中学生の時期は、自分中心に物事を考え、他人の立場や思いにまで目を向けられない傾向にある。

人としての良心を優先した杉原氏の生き方を通して、人を思いやり互いに尊重し合う心情を高めたい。

4 ねらいとする道徳的価値に関する生徒の実態と願い

(1) 学級について

中学生は、まわりの人に対して興味・関心が高まってくる時期である。しかし、本学級では、自分がよければそれでいいという考え方が強く、面倒なことには、最初からかかわりたくないという気持ちや、自分のまわりの人に対して思いやりをもって接し、大切にするという精神に欠けている。困っている級友がいても誰かがやってくれるだろうという他人任せなところも伺える。

そこで、杉原氏の深い人間愛に基づいたスケールの大きい献身的な活動や、自己犠牲の精神を知ることを通して、人としての良心や温かい人間愛の精神についての考えを深め、まわりの人に対して思いやりをもって接することの大切さや、人と人が互いに尊重し合う心情を養いたい。

(2) 抽出生徒について

①抽出生徒Aについて

まわりのことを考えて、優しい気遣いができる生徒である。しかし、その優しすぎるものが災いし、自分のことは後回しで、本来やるべきことがおろそかになっていることが多い。

また、自分の理想について、あまり具体像が描けず、その結果、目標に向け、具体的な行動が伴わない。自分の前に困難なことが立ちほだかると、すぐに妥協したり、適当にごまかしたりすることがある。

本時では、Aは杉原氏の行動に対して、人として思いやりある行動に共感的な立場の意見をもつことが予測される。そこで、Aを意図的に指名し、Aに思いを語らせることで、まわりに流されず、自分の考えをしっかりともち、妥協せず、自分の意見を主張できる機会としたい。また、優しい気遣いができるAが杉原氏の生き方にふれることで、人間愛の心に共感し、道徳的価値を高める姿を期待したい。

②抽出生徒Bについて

社会のルールやきまりをしっかりと守ろうとする生徒である。社会がもつ矛盾や課題に対し、攻撃的な考えを示す一方、時折、人に対し、思いやりに欠ける場面がみられる。本時の発問時には、Bは杉原氏の行動に対して、批判的な立場の考えをもつことが予想される。話し合いを通して、きまりを守ることは、大切なことだが、他者とのかかわりの中で、思いやりをもって接することの大切さに気づかせ、自分なりの思いや課題を発展させていく力を養いたい。

5 資料について

(1) 資料の概要

第二次世界大戦中、ナチス・ドイツは、ポーランドを占領し、多くのユダヤ人の殺戮が繰り返された。生き残ったユダヤ人は、日本のビザを手に入れば、安全な国へ脱出できたが、ドイツと防共協定を結んでいた日本政府は、ユダヤ人にビザを出そうとしなかった。

しかし、人として、目の前の命を助けるために、ナチスから逃れようとするユダヤ人に査証（ビザ）を発給した人物がいた。その人物の名は、杉原千畝氏。当時、リトアニアの日本領事官だった彼は、ユダヤ人の思いを知り、日本領事官としてどうすべきか思い悩むが、人としての在り方を考え、自分の権限でビザを発行することを決心する。数千人の命を救った彼の行動を描いた本資料は「人としての良心とは何か」を考えさせられる資料である。

(2) 「耳をすまして、学びを拓く」ための資料の生かし方

①資料との対話をさせるための手だて

ユダヤ人たちからの訴えの場面で、外務省からの命令に従うか、良心に従うか杉原氏の気持ちを考えることができるように、区切りながら範読をする。その後、自分の考えをワークシートに書かせ、机間指導で朱書きを入れることで考えを深めさせる。

②他者との対話、自己内対話をさせるための手だて

ビザを発行したことに対して、生徒の意見が批判に偏った場合には、抽出生徒Aの考えを意図的に取り上げることによって、思いやりや人間愛といった考えを深められるようにしていく。また、Aの考えを教師が意図的に取り上げたり、補助発問をしたりすることでAやまわりの生徒の考えを深めさせ、話し合いの活性化を図る。

6 板書計画

三もし、あなたがこの時代に生きた領事官ならどういう行動をとっていたらう。

命 困っている人

人として

国として 立場・責任 領事として きまり

賛成

- ・ 人として立派
- ・ 多くの人を助けたい
- ・ 目の前の命を助けるべき
- ・ 自分の立場よりも命

反対

- ・ 個人の判断や権限で行動してはいけない
- ・ 防共協定を守るべき
- ・ 日本まで戦争に巻きこまれそう

二ビザを発行し続けた杉原さんを、あなたは、どう思いますか。

「来るところを間違えている。出て行け。」とも言えたが、杉原さんは、なぜ、そうしなかったのだろうか。

ア.杉原千畝氏
写真

イ.ポーランドと
リトアニア
地図

ウ.ナチスドイツ
写真

エ.パスポートと
杉原氏が発行
したビザ
写真

登場人物

- ・ 杉原千畝
- ・ 幸子
- ・ バルファテック
- ・ クレメンテノスキー

希望のビザ

- ・ リトアニア日本領事官・外交官
- ・ 杉原の妻
- ・ ポーランドから逃げたユダヤ人

7 指導計画

第1時：資料前半を読み、杉原氏の人物像、当時の時代背景を確認する。

第2時：杉原氏の行動や心情にせまり、人としての良心や人間愛について考えを深める。

8 本時の展開 (本時2/2)

(1) ねらい

杉原氏の思いに迫ったり、杉原氏の生き方に対する考えを深めたりする活動を通して、同じ人間として、人類の幸福に貢献したいという道徳的心情を高める。

(2) 授業過程

時間	学 習 活 動	※教師支援 ☆評価
10 15	<p>○前時の内容を資料や板書で確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 杉原さんは、「来るところを間違えている。出て行け。」とも言えたが、なぜそうしなかったのだろうか。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 25%;"> ユダヤ人だからといって見捨てることはできない。 </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 25%;"> そんな簡単に見殺しにはできない。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 25%;"> 同じ人間として助けてあげたい。(①) </div> </div> <p>○資料の範読を聞く。</p>	<p>※資料の内容が理解しやすいようにア～エ(板書計画)について写真等を黒板に掲示し、時代背景や登場人物等を整理する。</p> <p>※①の意見をもつ生徒には、「なぜそう考えたのか」切り返しの発問をし杉原氏の行動の背景を意識できるようにする。(①E: 切り返す)</p>
25	<p>○資料の範読を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ビザを発行し続けた杉原さんの行動を、あなたはどうか。 </div> <p>○話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">賛 成②</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 政府や外務省の指示を無視しているけれど人として立派、すばらしい(④) </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> この先、どうなるかわからないけれど、目の前で困っている人を助けてあげたい。 </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> 今後、自分の立場が難しくなるけれど、一人でも多くの命を助けるべき。 </div> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>反 対</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> あくまでも日本政府の代表で駐在している。だから個人の判断や権限でやってはいけないこと(③) </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 防共協定まで結んでいるのに、勝手に助けたら逆に日本まで戦争に巻き込まれそう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> 個人ではなく、国と国レベルの問題であることを考えて行動すべき。 </div> </div> </div>	<p>※T2が板書を行い、T1が生徒の声に耳を傾け、よりの確かなコーディネート支援を行えるようにする。</p> <p>※「賛成」と「反対」の立場に分けて考えるよう指示をすることで、自分の意見を明確にできるようにする。生徒自身に価値の葛藤をさせるために、あえて「どちらともいえない」もありとは指示しない。</p> <p>※少数派になると予想される反対の立場の生徒が先に発言することで、賛成の立場の生徒の反論を誘い、対話を活性化する。</p> <p>※③のような反対の意見に偏った場合は、賛成の立場の「命・困っている人を助けるべき」という考えをとりあげて、「命と日本の国の立場のどちらが大切か」と問いかけ、考えをゆさぶる。(③E: ゆさぶる)</p>

	<p>どちらともいえない</p> <p>目の前の命と、日本の国のピンチとではとても自分では判断がつかない。(⑤)</p>		<p>※賛成の立場が多数となることが予想される。反対の立場の「日本の立場に危険が迫る」「個人の判断ではいけない」という発言を取り上げて杉原氏の「領事としての立場」と「同じ人間として葛藤」の大きさの理解を促し考えをゆさぶる。 (②E: ゆさぶる)</p>
38	<p>もし、あなたがこの時代に生きた領事官なら、どのような行動をとっていただろう。</p>	<p>自分も人として助けたと思う。</p> <p>自分の立場よりも今の目の前の命を助ける。</p> <p>ここまでの勇氣は出せないと思う。</p>	<p>※④のように「人として」という言葉に着目している生徒を意図的に指名することで本時のねらいに迫る道徳的価値に焦点を引き出す。(④C: 生かす)</p> <p>※賛成・反対どちらとも判断がつかない生徒の発言から杉原氏の葛藤の大きさを共感し合う。さらに、「それでも杉原氏が命令に背いて助けたのはなぜか?」という問いかけをし、「人として」などのねらいに迫る話し合いに焦点化する。(⑤C: 焦点化する)</p>
45	<p>○説話を聞く。</p> <p>その後、ユダヤ人によるイスラエル建国や杉原氏の人生などの話を紹介し、人としての良心の美しさにふれる。</p> <p>○振り返りをする。</p> <p>杉原氏の行動や心情にせまり、人としての良心や人間愛について、自分なりに考えを深める姿</p>		<p>☆逆の立場の考えも受け止め自分の考えを深められたか。(発言、ワークシート)</p> <p>※T2が、説話を語ることで、T1は生徒の表情などをよく観察し、本時のねらいに迫れたかの評価に生かす。</p> <p>☆他者の意見を聞き、自分なりに考えを発展させることができたか。 (発言、ワークシート)</p>

授業の視点

- ① 発問は、「人としての良心とは何か。」を考え、温かい人間愛の精神を深め、人と人々が互いに尊重し合う心情を養う上で有効であったか。
- ② ①E②C③E④Aにおける教師支援は、杉原氏の気持ちに迫り、人を思いやる人間愛について理解し、自分の役割や生き方を意識して、よりよく生きようとする道徳的価値に迫るために適切なものであったか。